

産業支援拠点「宇治NEXT」が産業会館に開設

6月3日オープン

市内産業の支援拠点として、「宇治NEXT」を6月3日に宇治市産業会館に開設します。本年3月に策定された今後の産業振興の方向性を定めた「宇治市産業戦略」に基づき、そのコンセプト「広がる、生まれる、進化する 産業交流都市UJI」の実現を目指し、下記の事業に取り組んでまいります。

「宇治NEXT」の主な事業

◇製造業を中心とした市内企業への訪問◇人材募集サイトと連携した企業の人材確保支援や会社説明会の開催◇工業用地の確保に向けた調査・検討◇市内企業間のマッチングや企業の知恵や情報の共有化を図る交流会の開催◇京都府、産業支援機関、金融機関、大学など専門機関と連携した幅広い支援◇各種補助金の申請支援◇外国人労働者受入や事業承継など時流に即したセミナーの開催◇ベンチャー企業育成工場を基点とした製造業者の創業や、創業塾や創業支援補助金を活用した創業者への支援など


従来の相談窓口は、商工会議所、宇治市、市産業振興センターなどに分かれていましたが、「宇治NEXT」が総合相談窓口となることで、市内事業者の利便性の向上を図ります。



産業支援拠点「宇治NEXT」


次の(未来の)宇治を作り出す意味や Nexus(つながり、結びつき)、Next us(近くで、私たちの未来)といった意味があります。

—— 釜山昌之



山本 正 市長

宇治市では、これからの産業振興策を示す「宇治市産業戦略」を本年3月に策定しました。この戦略に基づき、宇治市と商工会議所が一体となって事業者の皆様をサポートするため、「宇治NEXT」を開設します。ここでは事業に関する総合相談窓口として、事業者の皆様のお困りごとをお聞きし、各種支援機関とも連携しながら課題解決に向けて支援を行います。どうぞお気軽にご相談ください。



山本 哲治 会頭

「宇治NEXT」の開設によって「宇治市産業戦略」の推進という同じ方向性を共有することができました。宇治市と宇治商工会議所は、これまで以上にがっちり手を結び、お互いの力を結集して、地域経済活性化に尽力します。また、企業にもどんどん出向いて、経営課題やニーズ、要望を聴き取りながら、企業に寄り添った伴走型支援に取り組んでまいります。

商品券の取扱店舗を7月1日から募集します

宇治市プレミアム付商品券

宇治市では、10月に予定されている消費税率引上げが子育て世帯や住民税非課税者の消費に与える影響を緩和するとともに、地域消費を喚起・下支えすることを目的としてプレミアム付商品券を発行されます。宇治商工会議所では、プレミアム付商品券発行事業を受託し、この商品券を利用できる取扱店舗を7月1日から募集します。詳細は、所報7月号にてお知らせします。

宇治市プレミアム付商品券の取扱店舗向け説明会は7月に実施予定です。

宇治市プレミアム付商品券Webページも7月に開設されます。

- 【募集対象】宇治市内に店舗を有する事業者（法人・個人は問いません）
- 【利用期間】令和元年10月1日(火)～令和2年3月31日(火)
- 【換金手数料】無料
- 【購入対象者】2019年度住民税非課税世帯、3歳未満の子の世帯主
- 【購入限度額】1人20,000円(券面額25,000円)
- 【発行想定額】約8億5,000万円

—— 釜山昌之



所報
www.ujicci.or.jp
Chamber of Commerce & Industry

Webページには

- ☆ 2019年版ものづくり白書説明会…京都工業会
- ☆ 女性活躍応援事業補助金…京都府
- ☆ 就労・奨学金返済一体型支援補助金…京都府
- ☆ Word・PowerPointで魅力が伝わるチラシの作り方講座…産創館

2019 **6** Monthly Contents

宇治商工会議所

〒611-0021 京都府宇治市宇治詰45-13
TEL0774-23-3101 FAX0774-24-6930

「IT導入補助金」公募スタート！

経営支援

経済産業省では、平成30年度第2次補正予算により「サービス等生産性向上IT導入支援事業補助金」(IT導入補助金)の公募を開始されました。

この補助金は、中小企業や小規模事業者がITツールを導入して自社の生産性向上を図る場合に、その導入経費の一部を補助するものです。IT導入による業務プロセスの改善や効率化をお考えの方は、ぜひご活用ください。

対象者 事業所の生産性向上に向け、業務を効率化したり、売上を増加させるためのITツール導入を行う中小企業、小規模事業者

対象経費 ソフトウェア購入費、導入関連費(ハードウェアは対象外)
※導入するソフトの業務機能によりA類型とB類型に分かれます。

補助金額 A類型：上限額150万円未満 下限額40万円以上(補助率1/2)
B類型：上限額450万円 下限額150万円以上(補助率1/2)

申請締切 A類型：令和元年6月12日(水)、B類型：令和元年6月28日(金)

問合わせ サービス等生産性向上IT導入支援事業事務局(TEL0570-666-131)

詳細は、IT導入補助金のWebページ(<https://www.it-hojo.jp/>)をご覧ください。

—— 佐々木伸治

労働生産性の向上や働きやすい職場づくりを支援

京都府補助金

京都府では、労働生産性の向上により、長時間労働の削減や有給休暇取得の促進等に取り組む中小企業や、仕事と家庭を両立する柔軟な働き方を推進する中小企業を支援するため、「労働生産性向上推進事業補助金」と「多様な働き方推進事業費補助金」を創設されました。

「労働生産性向上推進事業補助金」

対象経費 IoTツールやロボット、ドローン導入など労働生産性向上に資する機器のリース、レンタル及び購入費等

補助金額 経費の1/2以内(上限100万円)

対象期間 交付決定日～令和元年12月27日(金)

申請締切 令和元年8月28日(水)

「多様な働き方推進事業費補助金」

対象事業 柔軟な働き方を推進する就業規則の整備や、保育施設の設置、テレワーク勤務に必要な設備の導入など仕事と育児・介護等の両立支援に資する事業

対象経費 講師謝金・旅費、ハード整備に係る経費、ホームページ作成費、教育研修費、備品購入費、委託料、印刷製本費、出展費ほか

補助金額 経費の1/2以内(上限50万円)ただし小規模事業者は2/3以内

対象期間 交付決定日～令和2年2月29日(土)

申請締切 令和2年1月31日(金)

問合わせは、いずれも京都府中小企業団体中央会(TEL075-708-3701)になります。

「労働生産性向上推進事業補助金」の詳細は、中央会Webページ(<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/guide/josei/cat2/seisanseikoujyou.html>)をご覧ください。

「多様な働き方推進事業費補助金」の詳細は、中央会Webページ(<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/guide/josei/ta-younahatarakikatasuisin.html>)をご覧ください。

—— 釜山昌之

「キャッシュレス時代到来！中小事業所の取り組み方」

経営安定セミナー

モノやサービスの購入においてクレジットカードや電子マネー等で決済するキャッシュレス化が加速しています。今後もインバウンドの増加が見込まれる中、その対応策としても期待が高まっています。今回のセミナーは、キャッシュレス化のメリット・デメリットから、中小事業所の取り組み事例について分かりやすく解説いただきます。

開催日時 6月20日(木) 14:00～16:00

開催場所 宇治商工会議所 第一研修室

詳細・申込みは、宇治商工会議所のWebページ(<https://www.ujicci.or.jp/>)をご覧ください。

—— 小西祥太郎



社会構造の変化に合わせた自己変革が重要

中小企業白書

中小企業庁が4月26日公表した2019年版「中小企業白書」では、人口減少、少子高齢化が進む中、令和時代を迎えるに当たり中小企業に求められる、経営者の円滑な世代交代や、経済・社会構造の変化に合わせた自己変革の取り組みについて、豊富な事例を交えながら分析を行っています。

【経営者の世代交代】

- ・親族内承継の支援措置は大幅に拡充。親族外承継の新事業展開にも期待。
- ・廃業時、経営資源の引継ぎは、旧経営者・起業家の双方にとって有益。
- ・比較的簡単に起業できるフリーランス・副業による創業の促進も重要。

【構造変化への対応】

- ・デジタル化社会では、IoT・AIを活用した、生産性向上の取り組みが重要。
- ・中小企業は大企業にとって魅力的な連携相手。研究開発の促進も重要。
- ・地方の中小企業は、域外・海外需要の取り込みが必要で、多くの地域で可能。

【防災・減災の取組】

- ・防災・減災対策を進める為、関係者(サプライチェーン、自治体、金融機関等)も巻き込みつつ普及啓発を推進することが必要。
- ・リスクに見合った災害保険への加入を進めることも重要。

この記事は、2019年版中小企業白書より一部を抜粋したものです。詳細は、中小企業庁のWebページ(https://www.cusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2019/PDF/2019_pdf_mokujityuuGaiyou.pdf)をご覧ください。

——— 西江将就

源泉所得税の納付相談を実施します

税 務

宇治商工会議所では、源泉所得税の納付相談を下記の日程で行いますので、お気軽にお越しください。

開催日時 6月11日(火)～7月9日(火) 10:00～17:00 ※土・日を除く
開催場所 宇治商工会議所
持参品 所得税源泉徴収簿・扶養控除等申告書・納付書

納期の特例による、2019年1月～6月分の給与に係る源泉所得税の納付期限は、7月10日(水)です。

京都サンガF.C. ホームゲーム観戦招待

お知らせ

京都サンガF.C.では、年に1度“宇治市応援デー”を設定され、宇治市在住の方を無料で招待されます。記載のQRコードまたは往復はがきにてご応募ください。この機会に皆様の声援を選手に届けましょう。

開催日時 7月20日(土) 西京極総合運動公園にて19:00キックオフ
申込期間 6月15日(土)～7月3日(水)
対戦カード 京都サンガF.C. vs 大宮アルディージャ



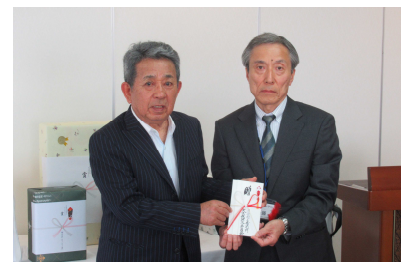
QRコード

応募は、1回につき宇治市在住の方で2名様までです。詳細は、(https://www.members.jleague.jp/members/auth/index/KS/20148_yudb_110)をご覧ください。

地域福祉に役立てて！善意贈るチャリティコンペ

大久保地区委員会

宇治商工会議所大久保地区委員会(高木健次委員長)では、「第22回チャリティゴルフコンペ」(藤村忠親実行委員長)を、5月24日に宇治カントリークラブにおいて盛大に開催しました。この事業は、地元企業や金融機関27社の協賛を得て実施。37名の参加者はプレーを楽しんだ後、懇親会において、成績表を見比べながらゴルフ談義に花を咲かせ、親睦を深めておられました。懇親会の席上、当コンペのチャリティ収益金5万円が、高木委員長から宇治市社会福祉協議会の齊藤常務理事に託されました。今回のコンペにより、大久保地区委員会からの寄付金の合計額は373万円になりました。



善意を託す高木委員長

コンペ上位入賞者(敬称略)

優勝 山仲修矢 2位 黒谷健一 3位 鈴木教宏 4位 木村舜一 5位 岡山朋義

——— 小西祥太郎



商店街・団体活動

5月開催

クリーン宇治運動推進協議会総会(角田盛樹会長、中村藤吉副会長、多田ひろみ副会長)

5月16日開催：令和元年度の一斉清掃活動日は、6/2(日)、11/10(日)、3/1(日)です。宇治川河川敷及び周辺地域において清掃活動を行います。



クリーン宇治運動推進協議会総会

ロクモール商店街振興会総会(潮見 洋会長、北村健一副会長)

5月16日開催：潮見会長をはじめ現役員が再任され、行政や関係機関との連携をさらに強化し、SNSを活用した商店街の情報発信や視察研修会、歳末感謝セール等のイベントに取り組みられます。

宇治橋通商店街振興組合総会(佐脇 至理事長、太田勝啓副理事長、宝田 直副理事長)

5月20日開催：役員改選では現執行部を再任。イベント・販促事業ではスマイルサタデーを8/3、わんさかフェスタを10/26に開催する他、加盟店のキャッシュレス決済導入に向けた取り組みも積極的に進めていきます。

宇治飲食喫茶組合総会(西山政利組合長、重永賢伸副組合長)

5月27日開催：手頃な保険料で加入できる料理飲食業国民健康保険のメリットをPRし組合員数の拡大を目指すとともに、会員の親睦を深めるべく昨年好評であった日帰り研修会を実施されます。



宇治公衆衛生協会宇治支部総会

宇治公衆衛生協会宇治支部総会(山根木徹也支部長、下口利治・長谷川勝己副支部長)

5月28日開催：食中毒予防に向けた会員事業所の巡回指導や衛生知識向上を図る講習会を開催するほか、食品衛生責任者講習会を通じて非会員の加入勧奨に取り組みられます。

宇治商工会議所の会議・事業・団体活動

5月開催

ゴルフ同好会「楽らく会」(杉本貞雄会長、村田貞美副会長、北野武男副会長)

5月17日開催：メンバー33名が参加し、宇治カントリークラブにて第55回ゴルフコンペを開催しました。優勝：山口興治氏、2位：富田暢彦氏、3位：小西敏博氏。次回は9月12日(木)日清都カントリークラブにて開催します。



ゴルフ同好会「楽らく会」

写真同好会「かわせみの会」総会(太田利三会長、城島健治副会長、山田悦夫副会長)

5月21日開催：写真を通じて会員相互の交友を深めることを目的に、今年度は研究会6回、写真展1回、撮影会3回を行います。

宇治川改修対策特別委員会(中村健治委員長、金丸公一副委員長)

5月21日開催：塔の島改修工事の進捗状況や河川の堆積土砂対策、府立宇治公園上面整備計画のほか、6月8日(土)に予定される宇治川改修事業完成記念式典について説明協議。



青年部と金融機関等との意見交換会

青年部と金融機関等との意見交換会(藪内信幸会長)

5月23日開催：近畿財務局京都財務事務所・地元金融機関と企業の抱える経営課題や地域活性化について意見交換会を実施しました。経営課題として多くの企業が人手不足をあげたほか、代表者保証制度の見直しや融資手続きの簡略化等の意見もあがりました。28名の参加者は懇親会でも情報交換しながら、相互の理解を一層深める有意義な機会となりました。

商店街チャレンジショップ事業

5月25日開催：宇治橋通り商店街にある大阪屋マーケットの空きテナントスペースにて、チャレンジショップ11店が出店し、抹茶石鹸や雑貨、天然酵母パン、市内産の野菜などを販売しました。また、音楽ライブやシネマ上映会、飲食ブースも設けられ、多くの来場者で賑わいました。



大阪屋マーケットでのチャレンジショップ

